

梅窓院通信

No.81
2016/03/01

青山



梅窓院墓苑の桜花。今年はいつ頃満開を迎えるのでしょうか。

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成



春のお彼岸を迎える頃となりました。皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年のお正月は大変な恵まれ、暖かい三が日となりました。元旦の梅窓院の修正会には百五十人余のお参りをいただき、ありがとうございます。また、お雑煮も人気のようです。午前中にはすでになくなり、作っていたいでいる光石さんにも嬉しい正月となりました。

その修正会とお雑煮振る舞いの時に、おじいちゃんに手を引かれるひ孫さん、という微笑ましい光景を拝見させていただきました。新春早々、心和やかな気持ちにさせていただきました。ありがとうございます。

さて、春のお彼岸が過ぎると四月を迎えますが、芝・増上寺で恒例の御忌が厳修されます。浄土宗を開かれた法然上人を偲び、徳を讃える法要ですが、七日には梅窓院梅真会の上人が唱導師を務められます。そして、その唱導師の両脇の二人の脇導師の一人を私が務めさせていただきます。増上寺の御忌には梅窓院の詠唱会が毎年参加させていただきます。いただいていることもあり、何度も参拝している方が多いかと思いますが、今年もぜひご参加下さい。

翌五月の十日には鎌倉の材木座海岸前に聳える光明寺に日帰りで団体参拝致します。一昨年十月、第百十三世法主に横浜は菊名の蓮勝寺の 大僧正台下が晋山されました。今回の参拝では柴田台下への拝調をお願いしています。また、光明寺名物の精進料理もいただく予定です。こちらもご家族お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

また今年にはリオオリンピックの年となりますが、四年後には二度目の東京オリンピックを迎えます。そのメイン会場となる新国立競技場に さんの設計案が採用されました。さんは日本を代表する建築家の一人ですが、実は現在の新しい梅窓院はその さんが設計した建物なのです。当時

はようやく国内外にその名を轟かせ始めた頃でしたが、その さんがこの新国立競技場のコンペで選ばれたことで、世界からより注目される建築家となりました。梅窓院としても嬉しい限りです。

春分から清明へ

新宿区 香蓮寺住職

勝崎裕彦

春

分、春の彼岸のお中日である。太陽は真東から昇り、真西に沈み、夜と昼の長さが同じ、二十四節気の大切な一日である。その春分の日から十五日して、次の節気が清明、現今の陽暦では四月五日頃である。清明は文字通り、天地が清く明るく澄み切つて、新鮮な空気が満ち渡る時である。

今回は、春分から清明への一節三候十五日の季節模様を歳時風物になぞらえながら書き綴つて、取り分けてはそこにまた仏心を尋ね問うてみたい。

二十四節気は二十四節・二十四気ともいい、一節・一気を十五日として、陰暦一年四季三百六十日に配当したものである。春・夏・秋・冬の四季は各三か月で、春でいえば、孟春(初春)は陰暦正月、仲春(中春)は陰暦二月、季春(晩春)は陰暦三月に相当する。一月は三十日であるから各月を十五日ずつ二つに分けて、前半の十五日を節といい、後半の十五日を中気といつて分点とした。つまり二月仲春の中気が春分ではじまり、三月季春の節は清明ではじまるのである。ちなみに各節気十五日は、五日ずつの三候に分けられ、一年三百六十日七十二候の各名称も、漢籍の代表である五経の一つ『礼記』月令編の記述に基づいて伝承されてきたのである。

さて春分は三月二十一日頃で、太陽の中心が春分点に到達し、黄経0度で赤道を直射することになる。昼と夜との時間がほぼ等しく、まさに昼夜等分、中日の名がふさわしい。別に、時正という言葉もあるが、この場合、「正」とは真ん中の意味である。時正はまた、お彼岸の七日間を通しての意味合いもある。

なお春分の日という季語は、昭和二十三年七月の「国民の祝日に関する法律」によって制定された祝日によるもので、季語としては新しく、いわゆる昭和・戦後の俳句から登場するものである。

春分のおどけ雀と目覚めけり (麦丘人)

星野麦丘人は、石田波郷門下で『鶴』の同人であり、その発行運営に尽力してきた。おらかな句風が持ち味であり、各種歳時記に採句されているこの句でも、「おどけ雀」という中七に、麦丘人の人柄がにじみ出ている。

ちう日や殊に桜に入日かけ (蝶夢)

天明期の京都俳壇の功労者蝶夢和尚は、京都上京区寺町通、浄土宗帰白院の住職を務めた人。やがて花咲くであろう桜に、西方極楽浄土からの阿弥陀如来の

慈光が恵みそそぐさまを、やはり「殊に桜に」という中七に効かせたものであろうか。

月日過ぎただ何となく彼岸過ぎ (風生)

富安風生は、東大俳句会から出発し、虚子の指導を受け、後に『若葉』を主宰した人。時に軽妙な口語調の作句をして、その持ち味を発揮したが、この句も「ただ何となく」という中七を恬淡に置いている。

そうして一気に日またぎして清明・清明節である。「清浄明潔」、まさに清くきれいに明るく澄み切つた時候である。万物はつらつとした春のよろしき季節の到来である。中国では、若草を踏んで野山を散歩することを踏青というが、古来、この清明節にもよく行なわれ、また墓参などもしたという。

挿木して清明の日の風呂焚けり (白陀)

『鶴』の同人であった皆川白陀の句。素朴な生活句を作った人で、お風呂を焚くというかつての日常生活の中に、四月五日、清明の一日が終わろうとしている。

(大正大学前学長)

平成27年12月23日、京都の清浄華院の法然上人像の御身拭い式にご住職が参加されました。

十二月・一月の

行事報告



今年で7回目となる修正会法要。

修正会とお雑煮の振舞いが無事終了致しました。元旦から沢山の方がお参り下さいました。



修正会の後におせちとお雑煮を楽しむ参拝者の皆さん。

春彼岸法要

三月二十日(日)

彼岸寄席

春彼岸法要

午後二時〜地下二階祖師堂

午後二時〜地下二階祖師堂



プロフィール

立川小談志師匠

岐阜県出身。昭和五十一年九月八日生まれ。
本名 寺田政春

〈芸歴〉

一九九九年五月立川談志に入門。前座名「談吉」。

二〇〇七年七月二ツ目昇進「泉水亭錦魚」を襲名。

二〇二二年十一月談志死去のため、二〇二二年四月龍志門下へ。二〇二五年十月真打に昇進。二代目「立川小談志」を襲名

お檀家様へお願い

三月十七日〜二十三日まで、境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせていただきます。ご協力お願い致します。

春彼岸物産展

3月19日・20日 観音堂

今年も郡上八幡の特産品が梅窓院にやってきます。この機会にぜひお求め下さい。



※観音堂エントランスにてお呈茶しておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

春彼岸によせて

この便りが届くころには、あの東日本大震災からまる五年が経ちます。先日こんなコラムを読ませていただきました。

☆過去につながる電話

(ペンネーム 宇岐 知子)

「風の電話」の話を聞いたことがあるだろうか。東日本大震災で大きな被害のあった大槌町にあるそうだ。(電話といっても線は繋がっていないので、実際に話ができないですが。筆者注)

家族や知り合いを亡くした人が、この電話ボックスから、亡くなった人に思いを語りかける。

『今は安らかにすごしていますか』『伝えたいことはありますか』

返事はしないけれど、見えない電話の向こうで、大切な人はきくと、やさしい目をして聞いてくれているような気がする。過去につながる電話も、あればいいと思う。

過去につながる電話があったら、母に

かけてみたい。

『行きたいところはある?』『食べたいものはある?』『私にして欲しいことはなに?』『母さんはしあわせですか?』そして、『私と一緒に暮らして、良かったと思ってくれていますか?』

もつともつと、いろんなことをしてあげればよかったね。ごめんね。

未来の私からの電話に、母はどう返事をするだろうか。

私たちも、どうでしょう。大切な人とはいつまでも一緒にいたいもの。しかし、別れはいつか必ずやってくる。

先に別れた大切な人。この方のように、もつともつといろんな場所に連れていかれたかった、食べさせてあげたかった。いろいろ話したかった……。

もし今もう一度話せたとしたら……。

もうすぐ春彼岸です。お彼岸は季節の節目。お日様が真西に沈みます。真西にはご本尊である阿弥陀様の西方極楽浄土がある。そこには極楽に救いとしていただいたご先祖様がいらつしゃいます。ですから、お彼岸は大切なあなたたちを一番身近に感じられる日とされています。亡き人たちと繋がるお墓に参りをして、最近の様子などゆつくりと話したいものです。私たちがご先祖様を思えば、ご先祖様も私たちを思ってくださいます。確かに繋がっているのです。そして、お彼岸法要に参列し、ご先祖様をお救いいただいたご本尊、阿弥陀様に感謝のまごころを捧げましょう。

(法務部)

梅窓院団体参拝のお知らせ

梅窓院恒例の団体参拝を今年は2度、日帰りで開催致します。ともに団参で訪れたことのある大本山ですが、今回はそれぞれ特別な趣向を凝らした参拝となります。

4月7日(木) 芝 増上寺 日帰り

御忌法要(脇導師に中島住職)の団体参拝

毎年恒例の梅窓院団体参拝が今年は2か月連続で催されますが、4月は芝公園にある浄土宗大本山増上寺の御忌法要に合わせた参拝です。

当日は、梅窓院の中島住職が梅真会の 唱導師の脇導師として法要に出られます。既に京都の大本山、清浄華院で御忌法要の主役である導師を務められていますが、今度は脇導師ながら梅窓院のお膝元である東京での御忌法要での大役です。皆さんの参拝をお待ちしています。



芝公園にある増上寺大殿(本堂)に随喜する僧侶が入堂していく。

5月10日(火) 鎌倉 光明寺 日帰り

新台下拝謁・精進料理堪能の団体参拝

5月は日帰りで鎌倉は材木座海岸にある浄土宗大本山鎌倉光明寺へ訪れます。

光明寺は浄土宗が関東に広まる拠点となった古刹で、浄土宗を開かれた法然上人の孫弟子となる、浄土宗第三祖の良忠上人が開かれた由緒ある浄土宗の大本山です。

一昨年10月、第百十三世法主に晋山された台下に親しく拝謁をさせていただき、昼食は光明寺名物の精進料理をいただきます。新台下拝謁と古刹で食する精進料理、どうぞごゆっくりお楽しみ下さい。



材木座海岸前に聳える光明寺、南国の雰囲気が出ながら漂っている。

※両団参の詳細を記したチラシを同封してありますので、どうぞご覧下さい。お申込みをお待ちしています。

青山散歩道

特別寄稿

医療法人徳真会グループ
理事長・歯科医師

今回の散歩道は昨年12月に表参道から約10分の青山通り沿いに徳真会クオーツタワーを完成させた、さんにご登場いただきました。さんは3年前に、あの さんのご紹介で梅窓院の檀家になられた方ですが、その さんに、新しい総合メディカルビル「徳真会クオーツタワー」の魅力を伺います。

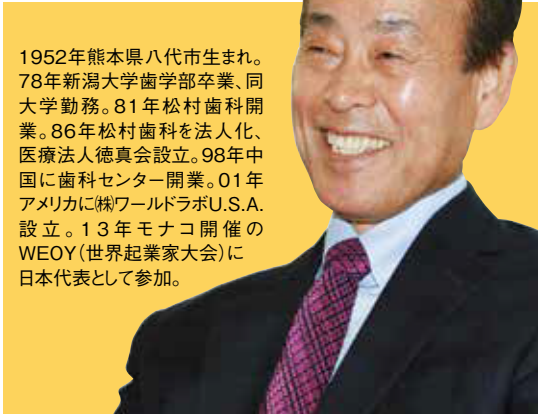
●お忙しい中、お時間をいただき、ありがとうございます。今日は さんが目指される歯科医療の話をお伺いさせていただきますが、その前に梅窓院の檀家になられた経緯からお話しいただけますか。

わかりました。実は熊本で過ごしていた小学校時

代から さんのファンでした。数年前

に、あるパーティで偶然お会いしたのをきっかけに今では家族ぐるみでお付き合いさせていただいています。その さんの紹介で梅窓院の檀家になりました。

●なるほど。お墓は さんのお隣ですね。ええ、両隣です。



1952年熊本県八代市生まれ。78年新潟大学歯学部卒業、同大学勤務。81年松村歯科開業。86年松村歯科を法人化、医療法人徳真会設立。98年中国に歯科センター開業。01年アメリカに(株)ワールドドラッグU.S.A.設立。13年モナコ開催のWEOY(世界起業家大会)に日本代表として参加。

従来の概念や既存の枠組みにとらわれることなく、自分の信念を貫く さんは、魅力溢れる歯医者さんであり、実業家である。

青山にある梅窓院は最高の立地です。から、田舎と違ってお墓参りに来られない理由がなくなる(笑)。

●そうですね(笑)。ご出身はどちらですか。

熊本です。子供の頃、夕方5時を知らせる歌が火の見櫓から流れるのですが、大体春日八郎さんとか三橋美智也さんの歌、そこに さんの歌が流れると心躍りましたね。親戚の家で『平凡』とか『明星』で さんの写真を見て、すっかり虜になったんです(笑)。

●なるほど。で、大学は新潟大学へ行かれたとのことですが……。

ええ、雪に憧れていたうえに、ちょうどその頃、田中角栄総理大臣全盛の頃で、新潟が脚光を浴びていて、迷わず新潟へ行きました。

●熊本から新潟、ご両親の反対は。次男でしたし、全くなかったです。

ね。で、新潟大学歯学部を卒業して大学に勤務しました。

●そして歯科医院を開業され、昨年11月に徳真会クオーツタワーを完成されたのですが、このタワーはどういう建物でしょうか。

このタワーは都市型医療機

関の最終形です。新潟の田舎の歯科医院からスタートして、医療法人、徳真会を設立し、現在は国内では新潟に12、宮城に7、大阪に3、福岡に1、そして東京に8つの

歯科医院を経営し、全国の歯科医にかかったことのある300人に一人は徳真会にかかっておられる数字になるほどの多くの患者さんを見ているのですが、こうした既存の歯科医院から一線を画したのが、この徳真会クオーツタワーです。

●先ほどご案内いただき、各フロアを拝見してきましたが、綺麗かつスタイリッシュですね。主な特徴をお教えいただけますか。



国道246号線沿いに聳える「徳真会クオーツタワー」。水晶のような透明感ある美しい外観は青山の雰囲気ピッタリ。また、そのインテリア・コンセプトは、細胞の再生力・免疫力を高め、体内の毒素を浄化するといわれる「水晶=クオーツ」と、人が心地よく感じる「ゆらぎ」の二つになっている。

ますか。

はい。まず3階は癒しのプライベート空間になっているホワイトニングの専門施設、そしてエステとネイルのフロアです。

4階と5階は総合歯科センター。

6階はキッズルーム。

7階は先端歯科治療を提供するフルオーダーメイドの施設で、世界トップクラスの歯科技工士の技工物もオーダーできます。また各種外国語に対応できるスタッフも常駐しています。

8階は内科、整形外科、皮膚科、頭痛外来といった医科が入っています。

9階から12階は貸しホールや貸し会議室となっています。

●そして、4・5・8階は年中無休です。●素晴らしい施設で、今までの歯科医院の概念を打ち破っているように感じましたが。

また、私自身の目標にしている世界をターゲットにしたものではありませんが、この徳真会クオーツタワーは歯科に



TEL/03-6362-6688(総合受付)
住所/〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目10-10
HP/http://www.quartztower.com/



A 3階ホワイトニング、エステ、ネイルの施設。 B 4階にある一般歯科の受付。リラックスして治療が受けられるよう、白とウッド調の明るくぬくもりある空間となっている。 C 6階には、親御さんが安心して治療に専念できるようにキッズルームが完備されている。スタッフや保育士もいるうえに、お子様の大好きな遊具もそろっている。 D 7階は、黒を基調としスタイリッシュなプライベート空間で最先端の歯科治療が受けられる先端歯科センターとなっている。

すし、世界トップレベルの治療が受けられますから、価値ある空間だと思っています。●拝見しますと、世界に71拠点、スタッフ

関わる総合施設の都市型版としては完成形に近いですね。

●一番の特徴はなんでしょう。

7階の自由診療ですね。いわゆる保険の効かない治療ですが、一般的な自由診療から比べると安いで

約1200人、年間患者総数80万人のアジア最大規模の医療法人グループとのこと。ここまで来られた経営理念は何でしょうか。

そうですね、患者目線、スタッフ目線、社会・国際目線、組織目線を大切にすること、また、患者さん、スタッフ、社会・国際貢献、そして存続発展の四つに利益を均等に還元することですね。

●まだまだ伺いたいことがあります。これで終わらせていただきます。ありがとうございました。

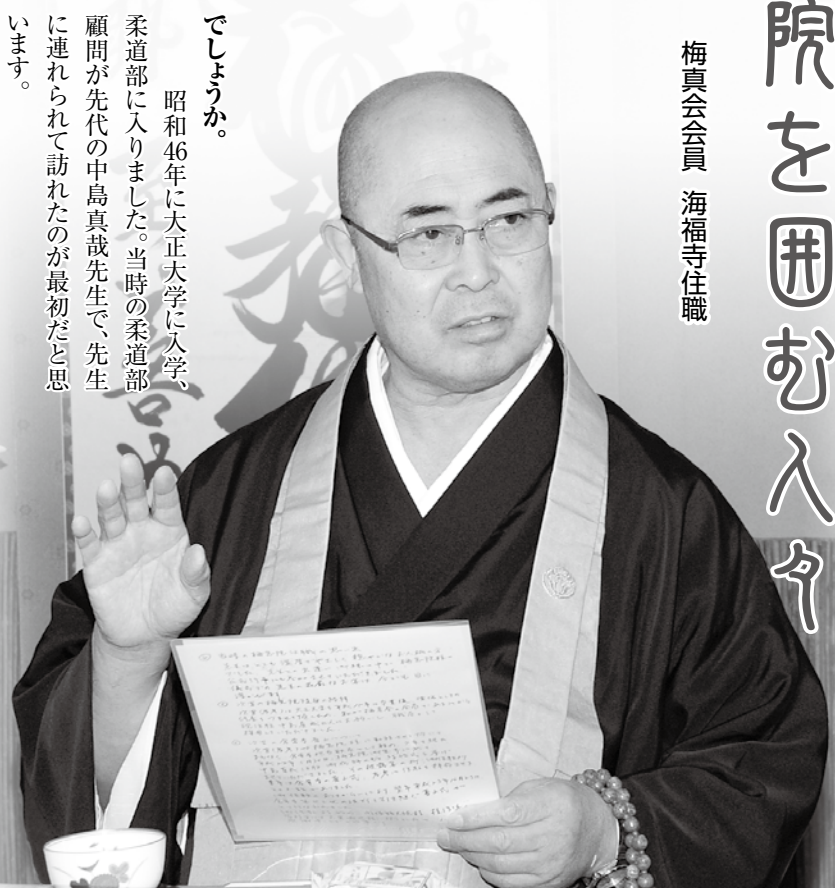
こちらこそ、読者の皆様の中にお困りの方がいらつしやいましたら、お気軽に徳真会クオーツタワーにお越し下さい。

梅窓院を囲む日々

梅真会会員 海福寺住職

今回は梅窓院の法務部に属し、倉常寺住職でもある瀧沢孝彦上人の師僧、御尊父の 上人にお話しを伺った。

梅真会の会員でもある 上人は、静岡県熱海海福寺住職で、大学時代にはしばしば梅窓院を訪れていた。また、前々回のこの「囲む人々」にご登場いただいた 上人の大正大学柔道部の後輩にもあたられる。



でしょうか。

昭和46年に大正大学に入学、柔道部に入りました。当時の柔道部顧問が先代の中島真哉先生で、先生に連れられて訪れたのが最初だと思います。

◆そうですか。その後もお見えになつてますか。

ええ、中島先生への合宿助成金のお願いで訪れたり、各会の納会やOB会がしばしば梅窓院で開かれましたので、何度も顔を出しています。その度に先生、奥様、随身の皆様に大変お世話になりました。

◆梅窓院の印象はどんなものですか。

本堂が洋風の建物で、洋式の室内がとても印象的でした。地下の広間での宴会では、柔道部長の 先生や各顧問の先

生、OBや現役の学生達と、大人数で軍歌や演歌、民謡などをみんなの手拍子で歌いました。賑やかで楽しかったですね。

◆目に浮かぶようです。

そうですね、とにかく懐かしく、いい思い出です。

その時の中島先生やご家族の皆様のお心遣いは今も忘れません。

◆先代中島上人の思い出をお聞かせいただけますでしょうか。

中島先生はとても温厚で優しく、穏やかなお人柄でした。先生は

柔道家らしい風貌の海福寺住職。

上人。

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○眼帯の中にも冬の夕日あり

◎入選

○すこやかに歳かさねけり実千両

○病みゐたる友案じつつ賀状書く

○海ひかり空かがやける初日の出

○元旦や心やすらぐ墓の前

○二人降り二人乗り来る雪の駅

○庭隅に土をかけられ葱の列

○枇杷の木をよくよく見れば枇杷の花

○着ぶくれてATMの列につく

○仏壇の中まで届く初明り

○縄ゆるび漬ごろとなる干大根

◎選者詠

○鰐口を鳴らし人去る雪催ひ

〈ワンポイントアドバイス〉

一月六日の寒の入りから二月四・五日の寒の明けまでを寒中といい、「寒」の字を頭においた季語がたくさんあります。寒夕焼 寒雷、寒木瓜 寒牡丹、寒夜、寒梅など。寒中のそうしたモノに心を寄せて句を作るのも楽しいものです。そして寒が明けると春。明るい季語の到来です。寒さから解放されたのびのびした心を句に詠むのも楽しみです。

大崎 紀夫

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室
電話03-5368-1870

投句募集

今回は「春の季語」でご自由にお詠み下さい。4月8日(金)を締切、平成28年6月発送の『お盆号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「倉常寺に晋山して」

倉常寺住職 瀧沢孝彦上人

いつもお世話になっております。梅窓院法務部僧侶の瀧沢です。以前、私が梅窓院の縁の深いお寺であります倉常寺に晋山した際に『青山』にその様子を掲載頂きましたが、早いもので、あれから5年が経ちました。

一か寺の住職として護寺発展に勤めさせて頂いておりますが、今日まで、色々な出来事がございました。寺院護寺の大変さも含め、まだまだ学ぶことばかりですが、中島御住職をはじめ諸先輩方、檀信徒の皆様のご尽力もあり、感謝の日々を過ごさせて頂いております。

倉常寺はのどかな田園が広がる町、埼玉県の杉戸にあります。河川に恵まれ、自給自足の生活もできる自然豊かな、とても環境の良い町です。そうした所ですから、地域の皆様も本当に穏やかで心が和みます。ちなみに、梅窓院の院内食堂のお米は、杉戸にお住まいのお檀家様の作った美味しいお米なのです。

どうぞ、皆様もお近くにお越しの際には倉常寺にも是非お参り下さい。

これからもよろしく願い致します。 合掌



現在の梅窓院中島家の歴史はこの倉常寺から始まっている。

心配りも行き届かれていた方で、ありがたいことに梅窓院の公式行事にも幾度か参加させて頂いた頂きました。特に本山での行事は思い出深く貴重な経験でした。

◆なるほど、大本山増上寺御忌会唱導師などの大きな行事ですね。

はい。また、そうした儀式や法要で、莊嚴衣しょうごんえに身を包まれた中島先生の姿は今でも胸に浮かびます。

◆さて、話は変わりますが、ご次男である孝彦上人が梅窓院の職員になられたのが、平成十五年でしたでしょうか。

ええ、大正大学を卒業してすぐでした。

僧侶としての修養をつませてもらうために、私が梅真会の会員だったこともあり、現在の中島真成住職にお願いさせて頂いた、ご快諾を頂いた



上人の御子息、副住職のお子さんと中島住職。可愛いお顔に思わずツーショット。

その前年の平成二十二年五月三十日に次男孝彦が梅窓院御宝前に於いて、中島真成住職御戒師のもと結婚式を挙げさせて頂きました。その披露宴の折、ご住職より「来年はご次男に倉常寺の第二十三世住職を拜命してもらえないか」との話をいただきました。

いや、ありがたい話でした。身を固めることができました上に、一か寺の住職となるわけですから、中島住職をはじめ、関係諸大徳、

きました。

◆梅真会のよき伝統が継続された訳ですね。その八年後、中島家が僧侶となるきっかけとなった埼玉県杉戸の倉常寺



山腹の小高い場所にある海福寺本堂からは熱海の海が見える。左から海福寺住職、中島真成梅窓院住職、瀧沢孝彦倉常寺住職。

檀信徒の皆様にも大変お世話になりました。心より感謝申し上げる次第です。

◆そうでしたか。これからも親子でご支援いただけるよう、お願い致します。本日はどうもありがとうございます。

第六十二回

食は命なり

食養研究家
武鈴子

春は苦味と酸味で「肝」を守る

日本料理の世界では「春は苦味を盛り」といいます。なぜ苦味なのでしょうか。

春は体の新陳代謝が活発になって、冬の間体内に溜まった脂肪や老廃物を排出するように働

きます。そのために体の解毒を司り、血液の貯蔵器官である「肝」に負担がかかります。肝が疲れると、血の流れが乱れて、のぼせやめまい、頭痛、鼻づまりなどのトラブルが起きやすくなります。

ウド、フキ、タケノコなどの春の食材には独特のほろ苦味があります。この苦味は体内の余分な脂肪や老廃物を排出して肝の働きを助けてくれます。

また、酸味の食べ物も肝の働きを補ってくれますので、春はとくに梅干しやレモン、酢などを使った料理を積極的に摂るようにしましょう。

ウドは寒気を取り除いて、体内の余分な水分を排出する働きがあり、関節痛やけいれん、皮膚の痒み、ノドの炎症などを改善するといわれます。野趣あふれる香りとはのかな苦味、シャキシャキとした歯ざわりが日本人に好まれ、幅広い料理に愛用されています。

春の食卓に「ウドの梅酢漬け」を一品。

- ①ウドを5cmの長さに切ります。皮を厚めにむいて短冊に切り、酢水にさらす。
- ②鍋に酢100cc、砂糖大さじ4、赤梅酢大さじ3、水大さじ2を入れて煮立てます。冷めたら容器に移します。
- ③①を水切りし、熱湯に10分つけたら水気を切つて、②に入れ、ときどき混ぜながら2時間おきます。

行事予定

春彼岸会法要

3月20日(日)

寄席 午後1時～ 祖師堂

法要 午後2時～ 祖師堂

※詳細は3面をご覧ください。

はなまつり

4月6日(水)～8日(金)

寺院棟2階 本堂

お釈迦様の誕生日をお祝いする「はなまつり」。寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。皆様どうぞご参拝下さい。



大施餓鬼会法要

5月21日(土)

※詳細は施餓鬼号にてお知らせ致します。

第68回 念仏と法話の会

6月8日(水)

時間 11時20分～(受付11時より開始)

法話 「しあわせを求めて」を願う生き方

講師 熊本教区 遣迎寺

山崎龍道住職

開山忌法要・能楽奉納

6月11日(土)

※詳細は施餓鬼号にてお知らせ致します。

発行 / 梅窓院
発行日 / 平成28年3月1日
発行人 / 中島 真成
編集 / 青山文化村
住所 / 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 / 03-3404-8447
FAX / 03-3404-8107
ホームページ / <http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail / jodo@baisouin.or.jp
題字 / 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

墓苑部では色々ご相談を受けます。「お参りには来られるのだけれどもお墓掃除ができなくなった」「命日だけれどもその日にお参りできない」等々、お墓や仏様のことを心配しておられます。この度、梅窓院墓苑ではお檀家様からのご要望に応じて墓苑内清掃・代参を始めました。お檀家様と同じ気持ちで清掃、お参りをさせて頂いております。おたずね等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。

■清掃代行作業のご案内・申込み

①草むしり 2,160円	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間以内の作業の場合一律 ・状況に応じて時間を取られる場合は、別途見積もらせて頂きます。
②墓石洗い 1,080円～5,400円	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ等に応じて ・水での手洗いです。墓石に浸み込んだ水垢・苔・シミなどは除去できない場合がございます。あらかじめご了承下さい。 ・特に大きな墓石や古い墓石に対しては、別途ご相談させていただきます。
③植木手入れ 1,080円～	<ul style="list-style-type: none"> ・根本からの伐採または、伸びた枝の簡単な剪定のみ行います。 ・現地確認の上見積もらせて頂きます。
④代参 1,080円+香花代	<ul style="list-style-type: none"> ・香花のお供えを代行致します。 ・墓参の際に飾る香花代(花と線香)は実費となります。 ・清掃作業後の代参については、香花の実費のみで承ります。

※お施主様以外の方からの申込みはお受け出来ませんのでご了承下さい。
※作業日の限定及び土日・行事前の作業はお受け出来ませんのでご了承下さい。
※年間契約をされた場合、弊社から契約更新についての連絡は致しませんので更新する際はご一報下さい。

平成28年度 前期 仏教講座のご案内

梅窓院では4月より平成28年度 前期 仏教講座を開講します。今年度は5名の先生をお迎えしております。どうぞお気軽にご参加下さい。

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

※昨年度休講していた新井俊定先生の講座が今年から再度始まりますのでぜひご参加下さい。

お檀家さんに伺いました

『最優秀賞受賞!とても嬉しいです!』

(平成27年 十夜法要にて)

写真展に応募したこともあり、久しぶりにお十夜会に伺いました。

受賞した写真の赤ちゃんの猫のフサちゃんですが、今、赤ちゃんは少し歩けるようになってフサちゃんを追いかけまわしているようです。

尼僧さんの法話は初々しくて、曼陀羅がなにを表現しているのかを細かく説明してくださり、勉強になりました。

芋煮はとても美味しく、先に帰ってしまった夫の分までたっぷり味わいました(笑)。

来年もぜひ参加したいと思います。

